

Backlit Mechanical Keyboard



XG1-R LED

ユーザーマニュアル

Ver.B

1. QTLAハードウェアマクロ機能

- XG1-R LEDには、内部メモリがあり、ユーザー定義のマクロキーをソフトウェアなしにダイレクトにかつ即座に記憶するハードウェアマクロ機能をサポートしています。
- ハードウェアマクロは、ソフトウェアやドライバを使わずにマクロフィーチャーを設定・使用できます。ユーザーがXG1-R LEDを他のPCに接続する場合も、ソフトウェアやドライバを一切使わずに同じマクロフィーチャーを使用することができます。それはまさにプラグ・アンド・プレイです。
- XG1-R LEDは、プロ仕様のハードウェアマクロフィーチャー（4つの異なるモード：**Quick, Timing, Loop, Auto**）をサポートしています。それで各モードの頭文字をとって'**QTLA**'ハードウェアマクロと呼んでいます。
- 出荷時の初期設定では、8つのマクロキーは、F1~F8と同じです。'FN'キーは単独で入力（押下）した場合、'ESC'キーとして動作します。
- 'マクロ'とは、キー操作のシーケンスを記録し、特定のマクロキーが入力されたときにそのシーケンスを実行することです。

2. QTLAハードウェアマクロ

QuickMacro (Q1~Q3)

- マクロが**QuickMacro**モードで記録された場合、キー入力間の時間間隔を無視して、OSが受け付けサポートしている最高の速度で（30CPS）マクロを実行します。
- 例えば、ユーザーが、QuickMacroモードで“**He..l...l..o!**”と各文字を異なる時間間隔で記録したとすると、マクロキー入力時には最高速度で“**Hello!**”と実行します。これはユーザーが、ゲーム中やオフィスで、頻繁に使用したり繰り返し使ったりするシーケンスを使用する際に非常に有用です。

Timing Macro(T1~T 3)

- マクロが**Timing Macro**モードで記録された場合、入力キーだけでなく、各キー入力間の時間間隔まで正確に覚えています。ですので、マクロは、ユーザーが以前のマクロ設定で作成したのと同じ時間間隔で入力キーを実行します。
- 例えば、ユーザーが、Timing Macroモードで“**He..l...l..o!**”と各文字を異なる時間間隔で記録したとすると、マクロキー入力時にはユーザーが設定したのと同じスピードで“**He..l...l..o!**”と実行します。
- 正確なタイミングでマクロ再生することは、ゲーミング中に非常に役立つ機能です。

Loop Macro (L1)	<ul style="list-style-type: none"> マクロがLoop Macroモードで記録された場合、入力キーと各キー入力間の時間間隔をそのまま覚えており、無限に繰り返し実行します。 例えば、ユーザーが、Loop Macroモードで “He..l...l..ol!” と各文字を異なる時間間隔で記録しプログラムしたとすると、“He..l...l..olHe..l...l..olHe..l...l..olHe..l...l..olHe..l...l..olHe..l...l..ol!” と無限に繰り返し実行します。 キーストロークの入力時間間隔を省いてマクロをエンドレスに繰り返せることから、ゲーミングにおいて卓越したスキルになります。 “Loop Macro”機能を停止するには、再度 “Loop Macro”キーを押します。 “Loop Macro”を実行中、ユーザーは、他のキーをさらに入力することができます。
Auto Macro(A1)	<ul style="list-style-type: none"> マクロがAuto Macroモードで記録された場合、入力されたキーを覚えて、そのキーを連続的に押された状態にします（保ちます）。 例えば、ユーザーが、Auto Macroモードでマクロ “ABCD” を記録したとすると、マクロ(Auto Macro)を実行した場合、キー “ABCD” が押された状態を連続的に保持します。ユーザーが、どれかのキー（複数も可）を連続的に押し続ける必要があるゲームで優れたスキルになります。 Auto Macroを止めるには、再度Auto Macroキーを押します。 Auto Macroを実行中、ユーザーは、他のキーをさらに入力することができます。

3. QTLAハードウェアマクロの設定・使用方法

マクロ設定 (設定方法)	<ol style="list-style-type: none"> (1) <FN>キーを押している間に、設定したいマクロキー(Q.T.L.A)を押す。 例えば、” FN+Quick1” を同時に押してみてください。 (2)<FN>キー上のLEDが点滅を始めたらキー入力を始めてください。最大180キーストロークを入力・設定可能です。 (3)マクロのキー入力を完了したいとき、再度<FN>キーを押します。指定されたマクロが終了し、セーブされます。<FN>キー上のLEDは、速く点滅してから、点滅が終了します。これがマクロ設定終了の知らせです。
マクロ使用 (使用方法)	<ul style="list-style-type: none"> マクロを実行するには、‘Macro key’を1度押します。 QuickMacroまたはTiming Macroのアクションを止めるには、キーボード上の任意のキーを押してください。 Loop Macroのアクションを止めるには、再度<Loop Macro>を押します。 Auto Macroのアクションを止めるには、再度<Auto Macro>を押します。
マクロ削除 (削除方法)	<ul style="list-style-type: none"> すべてのマクロキーをいっぺんに削除するには、<FN>+ <G>を3秒間押して下さい。<FN>キーのLEDが点滅を始め、すべてのマクロを削除します。 個別にマクロキーを削除するには、マクロ設定のプロセスで他のキー入力をしたくないようにします。<FN>キーを押しながら（削除したい）マクロキーを押下し、他のキー入力を一切せずに再度<FN>キーを押します。 指定したマクロ上に新しいマクロを設定すると以前のマクロは自動削除されます。

- 8つのマクロキーの出荷時の初期設定は、F1~F8で同じです。マクロ設定がない場合、F1~F8の順に動作します。

小技：‘Macro’ in ‘Macro’ コンビネーション

- QTLAマクロの組み合わせで、‘Macro’ in ‘Macro’ 機能を作成・使用できます。
- 第1に、任意のマクロを記録・指定します（例：Q1）。

第2に、新しいTiming MacroまたはQuick Macroを記録・指定します。新しいTiming

MacroまたはQuick Macroを記録する際、最初のマクロキー（例：Q1）を最後の入力キーとして指定します。そうすると、2つのマクロキーが順番に実行されます。私達はこれを‘Macro in Macro’と呼んでいます。XG1-R LEDのユニークで特別な機能です。

4. LEDコントロール






導入	<ul style="list-style-type: none"> • XG1-R LEDは、貴方がこれまで経験したことのない斬新で色鮮やかなLEDエフェクトをサポートしています。 • <FN>ボタンを押し続けると、現在のLEDモードとステータスが表示されます。（関連するキー上のLEDが光ります） • “バックライト”輝度が明るく設定（調整）され、“キーLED”輝度が暗く設定されると、押されたキーが消灯するかような真逆の感覚を引き起こします。
Light ON/OFF <FN> + <ESC>	<ul style="list-style-type: none"> • LEDバックライトエフェクトを点灯または消灯します。
バックライト輝度 コントロール <FN>+<F1>~<F2>	<ul style="list-style-type: none"> • バックライトの輝度を調整します。 • <FN> + <F1>で段階的に暗くなり、<FN> + <F2>で段階的に明るくなります。
キーLED輝度コン トロール <FN>+<F3>~<F4>	<ul style="list-style-type: none"> • キーLEDの輝度を調整します。 • <FN> + <F3>で段階的に暗くなり、<FN> + <F4>で段階的に明るくなります。 • バックライトおよびキーLEDの輝度は、顕著に異なります；つまり、キーLEDの方がより明瞭でクリアなLEDエフェクトを示します。
キータッチモード <FN> + <F5>	<ul style="list-style-type: none"> • 押下したキーキャップLEDのみが点灯します。
キーウェーブモード <FN> + <F6>	<ul style="list-style-type: none"> • 押下したキーキャップLEDだけでなく、その周辺も同時に点灯します。ソフトで美しいウェーブエフェクトを示し、再度<FN> + <F6>を押すと、追加で2つの照明エフェクトをゲットできます。
キーLEDモード <FN> + <F7>	<ul style="list-style-type: none"> • お好きなキーキャップ(LED)のみを点灯します。<FN> + <F12>を押してから光らせたいキーキャップを選んでください。

キーマスクモード <FN> + <F8>	<ul style="list-style-type: none"> • お好きなキーキャップのみを点灯させ、その後転送したキーのみが作動します。このモードでは、他のキーは押しても作動しません。 <FN> + <F12>を押してから、点灯作動させたいお好きなキーキャップを選択してください。 • Caps lock, Scroll lock, num lock, Vol +, Vol -, Muteは、キーマスクモードでも普通に動作します。
デモモード <FN> + <F9>	<ul style="list-style-type: none"> • 5種類のパターン。<FN> + <F9>を押すと、5つの異なるLEDエフェクトのデモを1つずつ実行します。
ブレスモード <FN> + <F10>	<ul style="list-style-type: none"> • 一定間隔で「呼吸」するLEDブレスモード。 • FN,G,Caps lock,Scroll lock, num lockを含む全LEDが同時に点灯/消灯します。
イコライザーモード <FN> + <F11>	<ul style="list-style-type: none"> • 外部のサウンドレベルに合わせて動く、素晴らしいLEDイコライザーエフェクト(5種類)。<FN> + <F11>を押すと、5つの異なるLEDエフェクトを1つずつ実行します。 • AGC(内部アンプ自動制御) 機能をサポート。
定義モード <FN> + <F12>	<ul style="list-style-type: none"> • ‘Key LED’ および ‘Key Made’ モードにおいてキーを定義します。<FN> + <F12>を押した後、キーを選択してください。選択したキーキャップ(LED)が点灯します。 キーをキャンセルするには、再度選択したキーを押します。

5. リピートスピードコントロール

	<ul style="list-style-type: none"> • リピートスピードコントロール (10段階) • リピートスピードを変えるには、<FN>+<NumPad '0~9'>を同時に押します。 • <FN>+<Num '0'>は、標準的なスピードで、<FN>+<Num '9'>は最速のリピートスピードになります。 • リピートスピードは、1つのキーを押し続けたときの入力スピードを意味します。
--	---

6. ファンクションキー

	音量を下げる
	音量を上げる
	ミュート
	Windowsキーロック
	'Num Lock'で実行される ‘電卓’ : 'Num Lock'をダブルクリックで電卓が起動します。

